

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:呼び出し焼香などで「故人ご令室様」と耳にしますが、遺された男性は何と呼びますか？

先日とある新聞記事に、NHK のど自慢で司会者が歌を披露した女性に対して「夫さんは応援に来ていますか？」なる言葉遣いをしたと書いてありました。たいていなら「ご主人来ていますか？」と言いそうなところだが、近頃のジェンダー（社会的な性別）を意識しての言葉遣いとして記事に取り上げられていました。確かに女性の配偶者をご主人と言うと、女性は主人に従属する者になってしまうからです。そこで苦肉の策として用いられた言葉が「夫さん」だったようです。なるほど言いたい気持ちは分かりますけど、ちょっと違和感がありますね。

そこで葬儀の際に用いられる敬称を思い出してみました。男性が亡くなると、妻は「故人ご令室様」と呼ばれます。反対に女性が亡くなり遺された男性配偶者は「故人ご主人様」などという呼び名は聞いたことがありません。ちなみに「ご令室」の対義語として「ご夫君」という言葉がありますが、葬儀の現場では一度も耳にしたことはありません。おそらく「喪主〇〇様」と呼ばれているからではないでしょうか。また地方紙のお悔やみ欄に喪主の肩書として時々、女婿と書いてある場合があります。「おんなむこ」と読むのではなく「じょせい」と読みます。娘の夫のことを指します。男性を表す言葉遣い一つとってもジェンダー問題が潜んでいるかもしれません。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問:讃岐の冬の味覚として愛されている食べ物を、



下の3つのうちから1つ選びなさい。

- ① マンバのけんちゃん ②マンバのチョコちゃん ③ポーッと生きてんじゃねーよ。

答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って

下さい。fax の受付は、朝8時～夜9時までとさせていただきます。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

*先月の答え、③のメッシでした。心から祝福したいですね。

***** 坊守の月イチブログ *****

幸せなひとりぼっち



老いた男が最愛の妻を亡くし、「お前が死んだら後を追うからな。」と約束をしたので、一生懸命に自殺を試みるのだが……というお話。

少し古い映画ではありますが、当時から気になっていた映画です。

老いた男は自殺を試みるもなかなかうまく死ぬことができません。一人になって思い出すのは、若い頃の自分と優しかった妻のこと。死ぬことに失敗すると花を持ってお墓に行き、亡き妻に「また失敗したよ。」と報告のお参りをする。老いた男は悲しみ100%、涙で溺れてしまいそうです。

好きで好きで一緒になっても寿命は人それぞれ。夫婦になってもどちらかが先に逝き、もう片方は置いて行かれる運命。

この映画を観て思ったこと、生きることができるというのは、誰かから必要とされているということを知ることができること。淋しさと戦うこと。老いと向き合わざるをえないこと。苦しいけどひとりぼっちじゃないよ、とお伝えしたい。先ずはこの映画を観て欲しいです。